

## 会長退任のごあいさつ

川崎重工業 顧問 横山 勝 義



2年間の月日は、アッという間にすぎて、会長交替の時期がきてしまいました。退任に当って、いまさら月並な文句を並べるつもりはありませんが、わがOR学会が、本当に会員の皆さんの善意に支えられ、特に、役員を引き受けてくださる方々の犠牲的な奉仕によって、まったく明朗に運営されていることを、心から慶びたい気持ちで一杯です。

2カ年をふりかえって、最も大きなできごとを挙げるとすれば、学会会議の法改正だといえましょう。国会の審議に手間どって、ようやく法律改正されたにとどまった次第ですが、審議の途中で日本経営工学会ならびに日本品質管理学会と協同して陳情をくりかえし、ようやく経営工学の分野を第5部の中に確立していただけたことは、今後の学会発展につながるものとして大いに期待される所です。

これを機会に一気に3学会合同の研究発表会をもちたいとも考えたのですが、やはりそれぞれにお家の事情があるらしく、いっぺんにそこまでゆくのは無理だという声も出てきましたので、当学会としては、いつでも応諾できる姿勢のまま、

さらにもう1つの重要課題として、アジアにおけるORの組織化があります。東京・京都でのIFORSの大会が、過去のわが学会の発展飛躍の源であったことから考えても、そろそろこの問題に真剣にとりくむべき時が到来したと思われま

して日本が断った経緯もあり、地域的にオーストラリア・ニュージーランドを含めるのか、あるいはアメリカ・ハワイをどうするかなど、いろいろむずかしい問題があり、活動を開始すれば、大変な人手とお金のかかる仕事なので、いまのところでは、とにかく今夏のワシントンのIFORS大会をきっかけにして、まずは意見交換の場をもちたいと望んでいます。

幸い、次期役員メンバーも決まり、特にORの草分けであられる近藤次郎先生が次期会長に就任されることに決定しましたので、こういった問題を含めて、学会のもつ諸々の課題を確実にバトンタッチするよう十分気をつけるつもりです。

最後になりましたが、種々のお力添えをいただいた方々に厚くお礼を申し上げ、退任のごあいさつといたします。

× × ×

× × ×